

第6回 情報セキュリティマネージャー ISACAカンファレンス in Tokyo



「デジタルトランスフォーメーション」時代における サイバーセキュリティ

デジタルトランスフォーメーションの浸透（ITの浸透によって、人々の生活をあらゆる面でより良い方向へ進化させるという概念）によって、これまでの業務形態はよりデジタル、ネットワークによって繋がれた社会へと変化してきています。

その一方「すべてが繋がる」ということによって、ランサムウェアなどのサイバー犯罪、高度に組織化されたサイバー攻撃部隊の脅威など、いわゆるサイバー攻撃の脅威は、大企業や重要インフラ企業のみならず、全ての企業・組織にとって避けることのできない課題となりました。今後、サイバー攻撃の脅威に対応していくことは、組織のセキュリティマネージャーにとって、必須の課題であり、セキュリティマネージャーの重要な役割となっていきます。

本年度も情報セキュリティ、特にサイバーセキュリティに関する知識の獲得、スキルアップ、情報交換を目的に、ISACA東京支部がカンファレンスを開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

日時

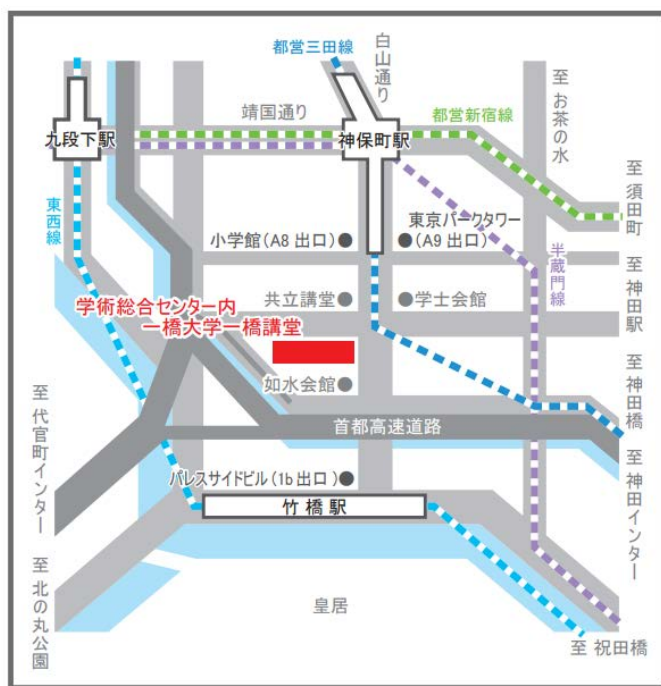
2018年1月6日(土)
13:30-17:30 (13:00 開場)

場所

一橋大学 一橋講堂

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
学術総合センター 2階

東京メトロ半蔵門線 都営三田線 都営新宿線
神保町駅 (A8・A9出口) 徒歩4分
東京メトロ東西線
竹橋駅 (1b出口) 徒歩4分



主催：ISACA東京支部

後援：独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)
特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会 (JASA)
特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)

●プログラム

挨拶	13:30～ 13:35	開会の挨拶 主催者より ISACA 東京支部 会長
講演 1	13:35～ 14:15 (50分)	サイバーセキュリティとリスクマネジメント 東京電機大学 国際サイバーセキュリティ学特別コースコーディネーター 未来科学部情報メディア学科教授 サイバーセキュリティ研究所長 佐々木 良一 様
講演 2	14:25～ 15:15 (50分)	CSIRT現場からみるサイバーセキュリティと監査 伊藤忠商事株式会社 IT企画部 技術統括室 ITCCERT 上級サイバーセキュリティ分析官 国立大学法人千葉大学 運営基盤機構情報環境部門 准教授 佐藤 元彦 様
紹介	15:30～ 15:40 (10分)	CISM資格の紹介 ISACA東京支部 CISM委員会 委員長 工藤 長生
講演 3	15:40～ 16:30 (50分)	セキュリティリサーチャーからの提案 ソフトバンク・テクノロジー株式会社 脅威情報調査室 プリンシパルセキュリティリサーチャー 辻 伸弘 様
講演 4	16:40～ 17:30 (50分)	サイバー脅威の現状とJC3の取り組み 日本サイバー犯罪対策センター (JC3) 理事 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 チーフ・インフォメーション・セキュリティ・オフィサー 坂 明 様

参加証明：カンファレンス終了後のアンケートにお答えいただいた方に証明書を発行いたします。

50分 X 4セッション = 200分のCPEに相当します。(ISACA継続教育 4CPE相当)

参加費用

一般3,000円 / ISACA会員・後援団体 2,000円

<http://ptix.at/TTSu6W>

- ISACA東京支部のホームページに掲載の開催案内にもサイトのリンクを案内しております。
- メールでのお申込みはお受けできません。
- Peatixの操作方法は上記申込みサイトのヘルプセンターを参照してください。

懇親会

3,500円

※上記Peatixサイトよりお申込みください。

- カンファレンス終了後に講師の方を囲んで、ささやかな懇親会を予定しております。
- 懇親会参加は別途有償となりますが、一般の方もご参加いただけます。
- 懇親会会場は、一橋講堂と同じフロアの中会議場です。入場時にPeatixチケットを確認させていただきます。

お申し込み期限

2018年1月5日 (金) 17:00

(但し、会場収容可能人数に達した場合、事前に締め切ります。)

お知らせ

- セミナー講師、講演タイトル、内容等は、都合により変更させていただく場合がございます、ご了承ください。
- 会場では講演資料の配布を行いません。配布可能な講演資料は2017年12月下旬頃を目途に、ISACA東京支部ホームページ上で公開いたします。必要に応じて事前に印刷・ダウンロード等をしてください。
- お申込みの際してお伺いしたお名前・メールアドレス等の個人情報は、本カンファレンスの中止や延期の連絡、次回開催案内に使用させていただくことがあります。
- お申込み完了時の画面を印刷して、当日受付に提出してください。
- カンファレンス終了後のアンケートにお答えいただいた方に、CPE証明書を発行いたします。

お問い合わせ

cism-conf@isaca.gr.jp (ISACA東京支部CISMカンファレンス担当)

講演1 13:35-14:25

サイバーセキュリティとリスクマネジメント

概要

サイバー攻撃は、近年、多様性を増してきており、どこまでどのような対策を実施すべきかを定めるためには、リスク問題としてとらえリスクアセスメントを適切に実施していく必要がある。

また、その結果に基づき適切に対策を実現していくには経営者が自分の問題としてとらえ対応していく必要がある。

本講演では、近年のサイバー攻撃に適したリスクアセスメントの方法や、経営陣とセキュリティ対策の現場とのリスクコミュニケーションの在り方などについて言及する。

講師

東京電機大学
国際サイバーセキュリティ学特別コースコーディネーター
未来科学部情報メディア学科教授
サイバーセキュリティ研究所所長
佐々木 良一 様



略歴

1971年3月東京大学卒業。同年4月日立製作所入社。システム開発研究所にてシステム高信頼化技術、セキュリティ技術、ネットワーク管理システム等の研究開発に従事。2001年4月より東京電機大学教授、工学博士（東京大学）。2002年情報処理学会論文賞受賞。2007年および2017年に総務大臣表彰など。著書に、「ITリスクの考え方」岩波新書2008年等。日本セキュリティ・マネジメント学会会長、内閣官房サイバーセキュリティ補佐官等を歴任。

講演2 14:25-15:15

CSIRT現場からみるサイバーセキュリティと監査

概要

サイバーセキュリティに対する関心が高まっている現在、どのような攻撃が行われどのように対処するのかを知り、対策を講じると共に、それらの対策が有効であるかを確認するための監査も重要性を増しています。ターゲットとなりやすい大手総合商社や国立大学でサイバーセキュリティ対策に取り組む立場から、CSIRT現場の取り組みに基づき、最新の攻撃動向とその対策の要諦、監査におけるポイントを解説します。

講師

伊藤忠商事株式会社 IT企画部技術統括室
ITCCERT 上級サイバーセキュリティ分析官
国立大学法人千葉大学 運営基盤機構情報環境部門 准教授
佐藤 元彦 様



略歴

セキュリティ会社で、営業・コンサルを経験し、セキュリティ検査やセキュリティ監査等を担当。テクニカル・マネジメントをどちらも経験。現在は、伊藤忠商事に所属し、CSIRTチームであるITCCERTでグループ全体のサイバーセキュリティ確保に努めている。

また、国立大学千葉大学の准教授も兼任し、学内のCSIRTチームであるC-csirtの運用を支援している。リサーチチャとしては、過去の標的型攻撃の傾向や基盤を分析してC2のドメインを洗い出し、取得できるものを取得して趣味のシンクホールに回して、各マルウェアの通信パターンの分析や、キャンペーンの攻撃範囲を独自に分析。被害者が特定できた場合には、国際的なコーディネーションも行っている。

講演3 15:40-16:30

セキュリティリサーチャーからの提案

概要

セキュリティリサーチャーという仕事をご存知ですか？一言では言い表せない程広い意味、範囲を持った言葉だと思います。そこで今回は公開情報をきっかけに事件・事故を調査するというリサーチ活動をしているボクが活動を通じて得られた事実・教訓と、2017年の夏に経験した弊社のセキュリティ事故についてのお話も共有いたします。

講師

ソフトバンク・テクノロジー株式会社
脅威情報調査室
プリンシパルセキュリティリサーチャー
辻 伸弘 様



講演4 16:40-17:30

サイバー脅威の現状とJC3の取組み

概要

昨今のサイバー脅威については、攻撃側が有機的に連携し情報も共有して攻撃を行ってきている状況にあります。このような状況を踏まえ、それぞれの組織において、情報の共有などを通じ攻撃を受けた場合でもサービスの提供・事業の継続を確保するための取組みを行うことと、国際的な連携も含め関係者が協働して攻撃者について分析しその手法を明らかにするとともに、攻撃者のツールやインフラを無効化し攻撃者自体を追及する対策を両輪として進めることが重要になっています。本講演では、現在のサイバー脅威の現状と、産学官（特に法執行機関）が連携して、サイバー脅威の特定・軽減・無効化に取り組む日本サイバー犯罪対策センターJC3の活動について説明します。

講師

日本サイバー犯罪対策センター（JC3）理事
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
チーフ・インフォメーション・セキュリティ・オフィサー
坂 明 様



略歴

1981年警察庁に入庁。生活安全局セキュリティシステム対策室長、情報技術犯罪対策課長として勤務し、サイバー犯罪対策に従事。2002年にはハーバード大学国際問題研究所（WCFIA）客員研究員としてサイバーテロを研究し、2008年から2年間、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授。2014年11月に日本サイバー犯罪対策センター（JC3）理事、2017年4月に東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会チーフ・インフォメーション・セキュリティ・オフィサー（CISO）に就任。原子力規制委員会核セキュリティに関する検討会委員、警察庁サイバーセキュリティ政策会議委員、国土交通省IT政策検討会メンバーなども務めている。